水産業の構造改革を推進する

新しい漁場 漁港 漁村づくり

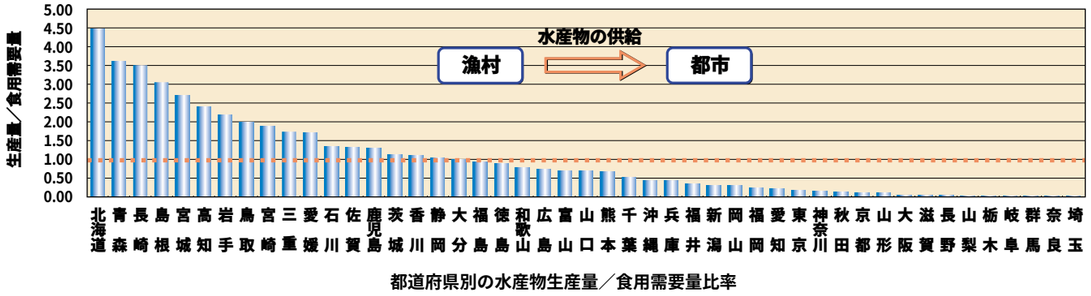
― 経済効果分析からのアプローチ ―

水 産 庁

これからの水産基盤（漁 場　漁港　漁村）の役割

今日の漁場　漁港　漁村と都市

津々浦々の漁村は、日々、新鮮で安全な水産物を始め、豊かな自然や漁村固有の文化、体験交流の場を全国の都市に提供しています

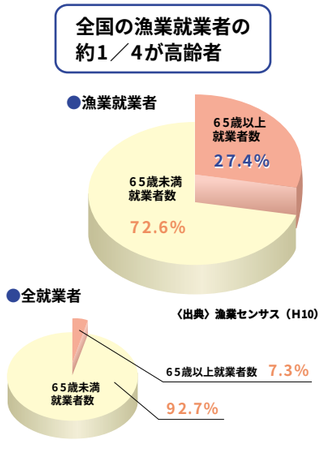


都道府県別の水産物生産量／食用需要量比率

漁場　漁港　漁村の様々な役割

高齢者がいきいきと就業できる場の創出

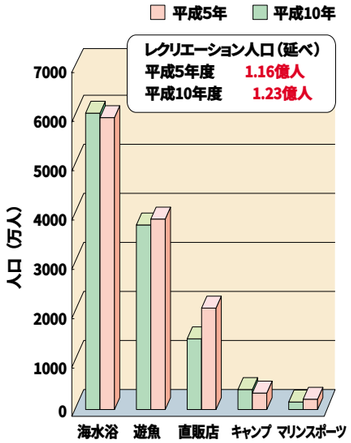
全国の漁業就業者の約1／4が高齢者



〈出典〉漁業センサス（H10）

〈出典〉労働力調査年報　総務庁統計局（H10）

多くの都市住民の来訪・交流



〈出典〉漁業センサス（H10）

都市の食ニーズの多様化に対応

養殖・栽培魚種が好きな魚ランキングの上位に！！

■20代			
①マグロ	(71.7)	⑪サバ	(39.1)
②サケ	(69.6)	⑫カツオ	(34.8)
③アジ	(65.2)	⑫カレイ	(34.8)
③サンマ	(65.2)	⑭タラ	(32.6)
⑤ブリ	(63.0)	⑮タコ	(30.4)
⑤エビ	(63.0)	⑯タイ	(28.3)
⑦ホタテ	(58.7)	⑰イワシ	(26.1)
⑧アサリ・シジミ	(54.3)	⑰カンパチ	(26.1)
⑨イカ	(52.2)	⑲サザエ・赤貝	(21.7)
⑩カニ類	(50.0)	⑳ヒラメ	(17.4)

■50代			
①サケ	(71.3)	⑪カレイ	(47.0)
②アジ	(69.4)	⑫タコ	(42.2)
③アサリ・シジミ	(69.0)	⑫サザエ・赤貝	(42.2)
④マグロ	(67.2)	⑭サバ	(39.9)
⑤ホタテ	(61.6)	⑭タイ	(39.9)
⑥イカ	(60.8)	⑯ヒラメ	(39.2)
⑦カニ類	(60.1)	⑰イワシ	(38.8)
⑧エビ	(55.2)	⑱カツオ	(34.7)
⑨サンマ	(53.0)	⑲タラ	(34.7)
⑩ブリ	(51.5)	⑳カンパチ	(30.6)

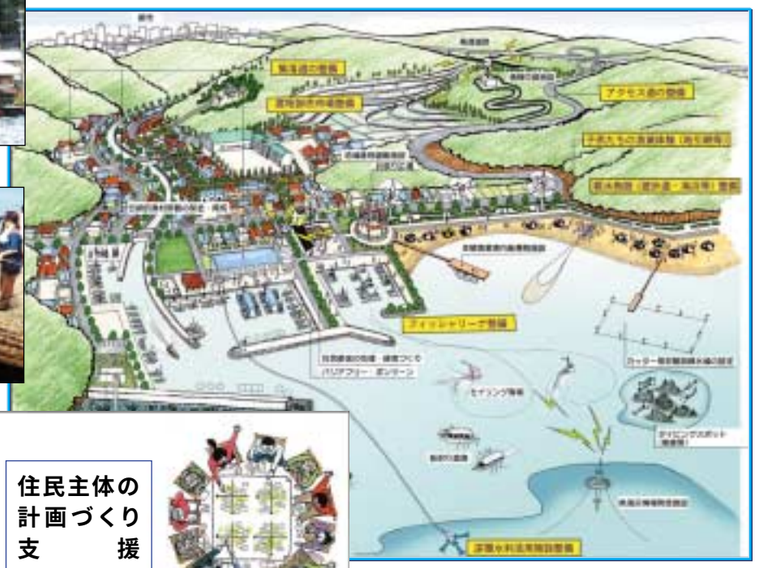
自然・都市と共生する豊かな浜辺の創造に向けて

新鮮で安全な水産物を安定的に供給し続け、海辺のふるさとと環境を守るため、環境創造型の事業を推進

都市と漁村の共生・対流を生み出す活力ある漁村コミュニティづくりを推進

伝統的漁村景観の保全・育成
（京都府 伊根漁港）

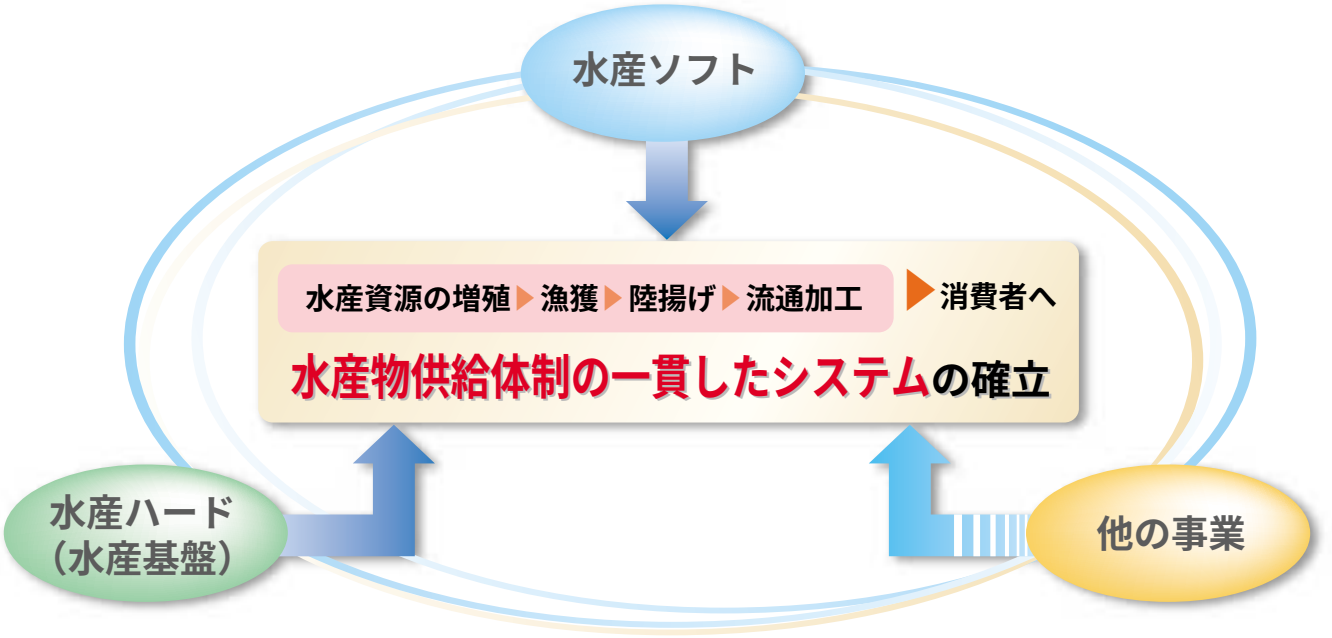
子供たちの漁業体験（地引網等）
「いきいき漁業体験 イン 手島」（香川県 丸亀市）



住民主体の計画づくり支援

水産基盤整備の抜本的改革

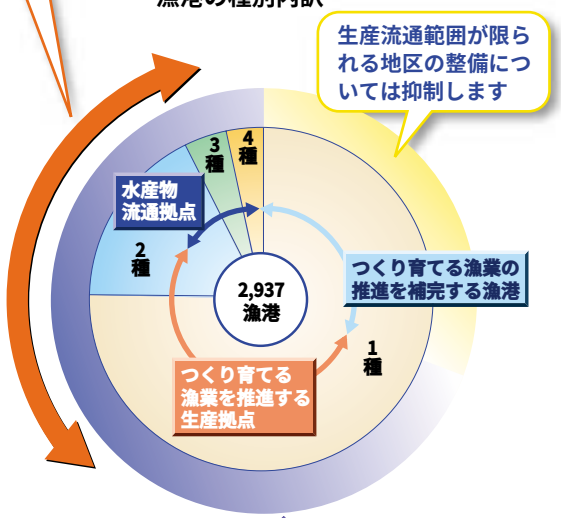
水産物供給体制の一貫したシステムの確立のためハード施策・ソフト施策の一体的実施体制で臨みます



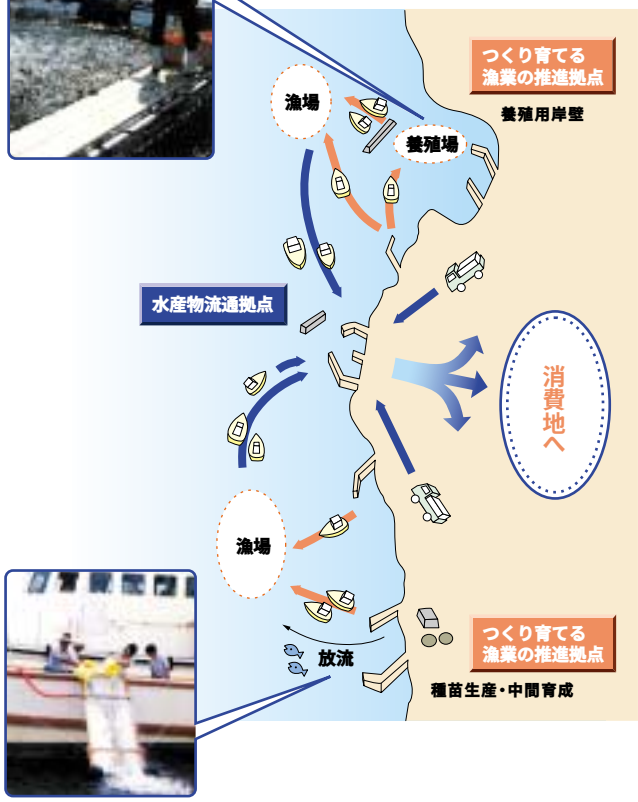
投資の重点化により効率的な整備を進めます

「つくり育てる漁業を推進する生産拠点」と「水産物の生産流通拠点」の機能分担を図り、特に元気で活力があり整備の緊急性のある地区に重点的な投資を図ります

漁港の種別内訳



・全体の約9割の水産物を陸揚
・漁業者の約9割が利用



今後の漁場　漁港　漁村整備のめざす効果

水産基盤整備の抜本的改革を通じて、さらなる効果の発現をめざします

今　後

●3つの基本方向に沿った施策の推進

①水産資源の持続的利用と安全で効率的な供給体制の整備
- 「海の畑づくり」の推進（つくり育てる漁業の場づくり）
- 生産流通拠点、品質・衛生管理の強化
- 就労環境の向上

②水産資源の生息環境等の積極的な保全・創造
- 「海の森づくり」の推進（藻場・干潟づくり）

③漁村の総合的な振興
- 安全で快適な漁村環境の形成
- 都市との共生・対流の促進に向け、住民参加のコミュニティづくり

●具体的な効果

【抜本的改革】
- ●水産物供給体制の一貫したシステムの確立
- ●ハードソフトの一体的実施体制
- ●投資の重点化

効果アップ

これまで

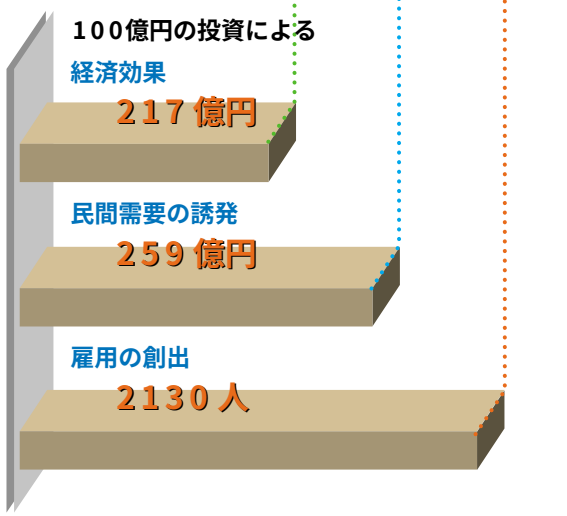
●各施設の整備水準の向上を重視

漁場の整備水準
- 漁場整備率
  11%（H3）➡12%（H12）
- 藻場・干潟の造成面積
  約7680ha（S51～H11累積）

漁港の整備水準
- 安全に利用できる岸壁整備率
  25%（H3）➡36%（H11）
- 増殖及び養殖用施設面積
  32ha（H3）➡229ha（H11）

漁村の生活環境の整備水準
- 下水道等普及率（他事業含み）
  8.6%（H5）➡25.4%（H11）

●具体的な効果



これからの水産基盤整備のめざす

漁場　漁港　漁村の経済効果

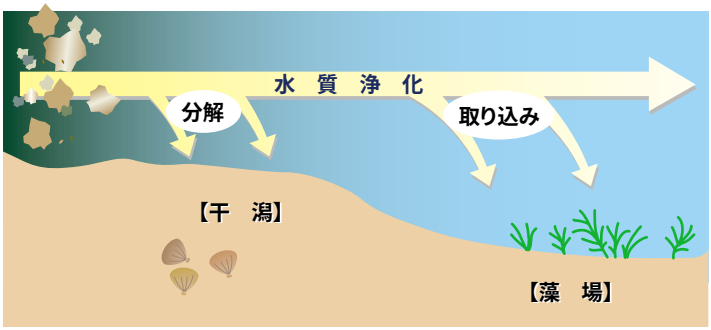
環境創造型事業への公的投資１００億円により２６１億円の経済効果

資源培養効果

積極的な漁場環境の保全・創造と水産資源の基礎生産力の向上をめざします

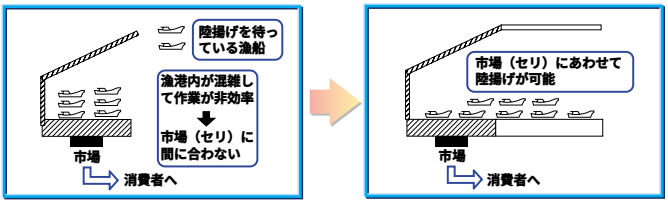
水質浄化（藻場・干潟）効果

水産資源の生息環境である藻場・干潟の積極的な保全・創造を通じた水質浄化効果の発現をめざします



水産物の生産性向上効果

水産物生産コストを削減します



整備前　　整備後

漁業就業者労働環境を改善します

陸揚げは重労働　　浮体式岸壁ができて陸揚げが楽に

付加価値向上効果

種苗生産や中間育成の支援、鮮度向上、活魚出荷体制を確立し、消費者ニーズに対応したより高品質な水産物を供給します

つくり育てる漁業のための水産施設の一体的整備（鹿児島県今和泉漁港）

漁村の生活環境と漁場等の水質改善効果

集落排水施設等の整備により、漁村の生活環境と漁場及び漁港の水質環境の改善を図ります

◀島根県美保関漁港

集落道の整備による生活環境の改善

◀宮崎県北浦漁港

集落排水施設による水質環境の改善

これからの水産基盤整備のめざす

民間需要の誘発と雇用の創出効果

水産業の構造改革、漁村のコミュニティ・都市との交流に向けた公的投資100億円により、民間需要の誘発：283億円／雇用の創出：2353人

水産関連産業への民間需要誘発・雇用の創出

- たとえば漁港の整備によって、加工場をはじめとした水産関連施設が立地・集積し、水産関連産業が発展します
  さらに住宅環境も改善され、地域の活性化に大きく寄与します

加工場の立地

海レク・観光関連産業への民間需要誘発・雇用の創出

- 漁村固有の地域資源を活用したふれあい・交流基盤の整備により、都市と漁村の共生・対流を促進し、海洋レクリエーション、観光関連産業等、地域経済の活性化に貢献します

▲長崎県南風泊漁港

▼人工海浜の年間入場者数
1.4万人（H12）

◀海釣り公園の入場者数
1.3万人（H12）

多様な効果を発揮した漁場　漁港　漁村整備の事例

ー全国に、漁業や地域の振興に様々な効果を発揮した漁場　漁港　漁村整備の例が見られます･･･このような事例を参考に多様な効果をもたらす事業展開を図りますー

宮城県 気仙沼市 気仙沼漁港

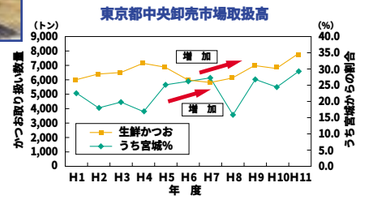
首都圏へのカツオ集出荷基地における基盤整備を通じた高鮮度出荷機能の充実

漁獲物の衛生的で効率的な取扱い要請に対応して、－6m陸揚岸壁と合わせて近代的な市場施設が整備

効　果

- 生鮮食用出荷量の増加と活魚出荷量が増大。特に生鮮カツオの取扱量が増加
- 首都圏を中心に生食用のカツオが安定的に届くようになり、消費者にカツオ生食が普及

◀－6m陸揚岸壁と一体的に整備された気仙沼市魚市場施設



山口県 阿武・萩地域

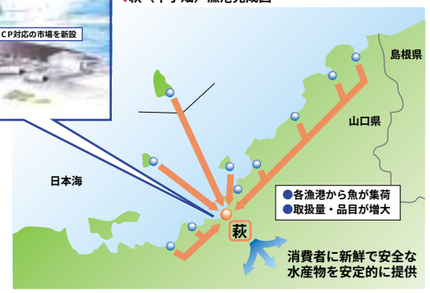
阿武・萩漁協合併、市場統合による水産物流通システムの強化

阿武・萩地域（1市3町）では、漁協経営・市場経営基盤を強化するため、漁協合併を行うとともに、市場統合により衛生管理（HACCP）対応の新市場を整備（H13予定）

効　果

- 地域内の水産物市場が統合され、従来の分散した市場と比べコストが削減
- 集荷量の増大と取扱品目の増加により地域内水産物の価格が安定
- 衛生管理（HACCP）対応の新市場整備により、消費者に新鮮で安全な水産物を安定的に提供

◀萩（中小畑）漁港完成図



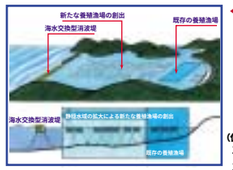
鹿児島県 東町 薄井漁港

つくり育てる漁業の推進と㊫ブランドで陸揚金額日本一へ

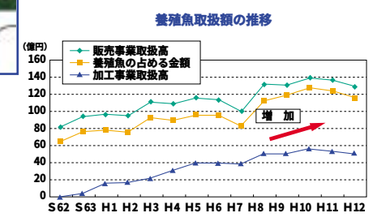
新たな試みとして導入された魚類養殖を支えるため、養殖場の造成、岸壁、衛生管理（HACCP）対応の水産物加工施設等を整備

効　果

- 養殖の生産量・額ともに増加
- 周辺産地からの効率的な集荷や陸揚・出荷・加工体制の確立と、生産労働の効率化が実現
- 生産額の増大とブランド化による販売体制の確立
- 雇用の場の創出など養殖業の振興



◀養殖場造成



北海道 サロマ湖

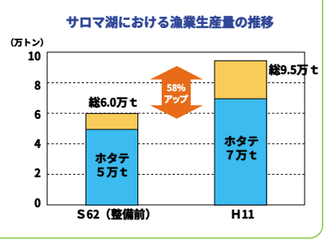
サロマ湖の環境保全・創出を通じたホタテ・カキ等のつくり育てる漁業が振興

湖内のホタテ・カキ養殖と外海への稚貝放流によるつくり育てる漁業が盛んなサロマ湖漁港では、サロマ湖と外海を結ぶ湖口航路を整備

効　果

- 航路の整備により外海水と湖内水の交換が促進され、湖内漁場環境の向上を通じて漁業生産が増大
- 流氷による養殖施設等の被害を解消

◀サロマ湖漁港の航路（港口）と流氷流入防止施設



神奈川県 三崎漁港

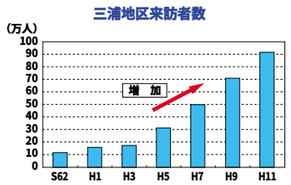
水産業と観光の調和のとれた振興・発展をめざした漁港づくりの実現

水産業振興の場と都市住民とのふれあいの場をゾーン区分して整備を推進

効　果

- 地場産品の販売と情報発信施設、プレジャーボートの収容施設等が整備され、首都圏域の海洋レクリエーションの場を提供

◀三崎フィッシャリーナ・ウォーフ周辺親水緑地



高知県 窪津漁港

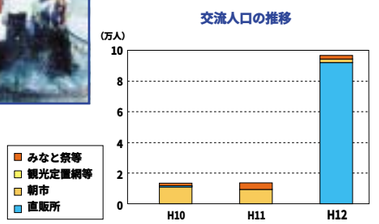
美しく快適な漁村空間の提供により都市と漁村の交流を促進

足摺宇和海国立公園に位置する窪津漁港では、大型定置等の漁業に加え交流広場整備を基盤に直販所ホエールウォッチィングや観光定置網等の観光漁業に取り組み

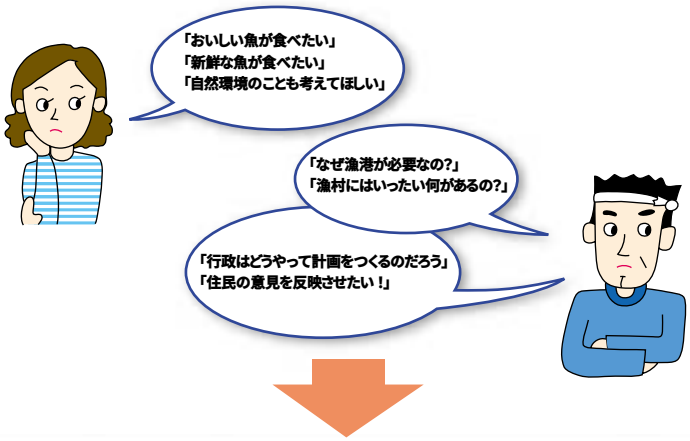
効　果

- 交流空間の整備と魅力的な資源と関係者の積極的な取り組みがあいまって、交流人口や直販等の売上額が飛躍的な伸び
- 漁業と都市漁村交流を軸とした地域振興に寄与

◀体験観光定置網



ぜひ、水産基盤の計画づくりに参加しませんか



快適な漁場地域づくりに向け、地域住民との意見交換の場を設け
「地域住民の関心を高める」

地域住民とともに地域の将来を描き
「地域住民の意見を計画に反映させる」

事業化・実現化のため、情報を整理し事業計画をつくり
「行政の意志決定の透明化を図る」

ご意見、ご感想等ありましたら、下記問い合わせ先までお願いします。

＜メモ＞

水産庁ホームページもご覧下さい　http://www/jfa.maff.go.jp/

問い合わせ先：水産庁　漁港漁場整備部計画課
東京都千代田区霞ヶ関1−2−1
TEL.　03-3501-3082　FAX. 03-3581-0326